

## 参加登録方法

- 事前登録制です。インターネットから直接お申し込み下さい。  
「MEDC」で簡単検索できます

第43回医学教育セミナーとワークショップのページ

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/seminarworkshop/2012/43th/index.html>

締め切り：2012年1月15日(日)

- ※ ホームページからお申し込みできない方は、FAX(058-230-6468)でご連絡ください。
- ※ 会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。  
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承下さい。

参加費：2,000円(資料代) 学部学生無料  
懇親会費：別途徴収いたします

受付時に徴収いたします。  
資料代は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。  
参加者には後日、報告書を送付いたします。(学部学生は報告書の送付は含まれません)

会場：じゅうろくプラザ  
JR岐阜駅隣接



### 交通のご案内



- JR名古屋—JR岐阜  
快速で20分
- 中部国際空港—名鉄岐阜  
特急で60分
- JR岐阜駅隣接 徒歩約2分
- 名鉄岐阜駅より 徒歩約7分

## 第43回

# 医学教育セミナーとワークショップ in 岐阜

## 開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。次回の第43回医学教育セミナーとワークショップは、医療系e-learning全国交流会との共催で開催いたしますので奮ってご参加下さい。

岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之

日程 2012年1月28日(土)・29日(日)

会場 じゅうろくプラザ (JR岐阜駅隣接)

WS-1 WFMEのグローバルスタンダードを読み解く

企画：吉岡俊正(東京女子医科大学), 西城卓也(岐阜大学)

WS-2 地域で社会医学を教える

企画：Kenneth Mullen(英国・グラスゴー大学), 若林英樹(岐阜大学)

WS-3 Multiple mini-interviewによる医学部入試

企画：Keh-Min Liu(台湾・高雄医学大学), 鈴木康之(岐阜大学)

WS-4 医学教育専門家庭教育検討委員会

教育ポートフォリオ評価トライアル&評価者養成(公募参加はございません)

企画：日本医学教育学会 医学教育専門家庭教育検討委員会

第6回 医療系e-learning全国交流会

Seminar-1 : Multiple mini-interviewによる医学部入試

講師：Keh-Min Liu(台湾・高雄医学大学)

Seminar-2 : 技術革新時代のe-learningとsimulationを成功させる工夫

講師：高橋優三(岐阜大学)

2012  
冬

28日(土)	10:00 - 12:00		WS-2		E-Learning
	13:00 - 16:30	WS-1	WS-2	WS-4	E-Learning
	16:45 - 18:30	セミナー1			
	18:40 - 20:10	懇親会			
29日(日)	9:00 - 13:00		WS-3	WS-4	E-Learning

医学教育共同利用拠点：岐阜大学 医学教育開発研究センター  
詳細・申込み：<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc>

**MEDC**  
MEDICAL EDUCATION DEVELOPMENT CENTER, GIFU UNIVERSITY

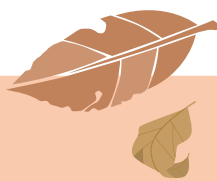
〒501-1194 岐阜市柳戸1-1 medc@gifu-u.ac.jp  
TEL: 058-230-6470 FAX: 058-230-6468

## WS-1 WFMEのグローバルスタンダードを読み解く： 教育質保証を目指して

日時：2012年1月28日(土)13:00～16:30  
企画：吉岡 俊正(東京女子医科大学), 西城卓也(岐阜大学)

概要：2023年以降、米国外の医科大学(医学部)を卒業し米国で研修しようとする者は、世界医学教育連盟(WFME)グローバルスタンダードなどの国際的基準で認証された教育機関の卒業であることを資格試験受験要件とする方針を、ECFMGが公表した。このことは国際的な医学教育質保証の動向を象徴している。わが国には医科大学・医学部教育に特化した認証制度(分野別評価)はない。各教育機関が教育を継続的に見直し教育向上を行い、教育質保証を達成していることを国際社会に示す制度が今後必要となる。ワークショップでは、教育質保証という認証評価制度の基盤となる概念を理解し、WFMEグローバルスタンダードを読み解きながら、医学教育機関が自己点検評価を通じた教育改善と教育質保証を達成し、将来国際認証されるために何が必要かを考える。

対象：WFME国際認証、医学部の教育質保証、教育改善に関心のある方どなたでも  
定員：約30名



## WS-2 地域で社会医学を教える

日時：2012年1月28日(土)10:00～16:30  
企画：Kenneth Mullen(英国・グラスゴー大学), 若林英樹(岐阜大学)

概要：将来の医療を担う医学生を育成するために世界的に医学教育改革が進行しています。地域基盤型教育は一つの方向性となっていますが、病院中心の教育も再び強調されるようになり、両者のバランスを取ることは難しいと言えます。このワークショップでは日本と英国の地域基盤型教育の現状と問題点を比較しながら、将来に向けて経験や学びを共有していきたいと思えます。午前中のセッションでは日英の現状を概観し、グラスゴー大学の取り組み(1年次 Family project, 2年次 Life history project)を紹介します。午後のセッションでは、社会科学的な視点を取り入れた地域基盤型教育をデザインします。日本語を交えて行います。

対象：地域基盤型教育、社会医学、初年次教育、教養教育、プロフェッショナルリズム教育、サービスマニエール教育などに関心をお持ちの教員、指導者  
定員：20名



## WS-3 Multiple mini-interviewによる医学部入試

日時：2012年1月29日(日)9:00～13:00  
企画：Keh-Min Liu(高雄医学大学), 鈴木康之(岐阜大学)

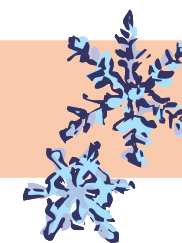
概要：面接試験の信頼性を高めることは難しいこととされていますが、近年、新たな面接方法としてMMI (Multiple Mini Interview) が注目を集めています。このワークショップでは、MMIをいち早く導入された高雄医学大学の劉克明教授の企画で、MMIの導入方法を実践的に学びます。前日のセミナー講演で全体像をお話いただき、ワークショップでは選抜したい学生像を議論し、実際にステーション課題の作成を試みます。選抜試験を改善したいとお考えになっておられる先生方のご参加をお待ちしています。日本語を交えて行います。

対象：選抜試験に関わる教員、指導医  
定員：20名

## WS-4 医学教育専門家育成検討委員会： 教育ポートフォリオ評価トライアル&評価者養成

日時：2012年1月28日(土)13:00～16:30, 29日(日)9:00～13:00  
企画：日本医学教育学会 医学教育専門家育成検討委員会

概要：医学教育専門家資格制度の認定審査にあたって、提出された教育ポートフォリオの評価作業のトライアルと将来、ポートフォリオ評価者になって頂く方の候補者の養成を目的としてワークショップを実施します。(公募参加はございません)



## 第6回 医療系e-learning全国交流会

日時：2012年1月28日(土)10:00～16:30, 29日(日)9:00～13:00  
主催：第6回医療系e-learning全国交流会実行委員会

概要：「第6回医療系e-learning全国交流会」を第43回S&Wとの共催で開催します。医療系e-learningに関する定期的な集いとしては「医療系e-learning全国交流会」が国内随一であり、皆様のご参加をお待ちします。プログラム1日目には参加者からの口頭発表(口演)、2日目(日曜午前)にはワークショップを行います。口演には日頃からの取り組み、研究成果、話題提供など是非ご紹介下さい。ワークショップについては、医療系のe-learningの実践(コンテンツ制作や運営方法など)に関してお集まりいただいた皆様方と率直な議論ができるような企画をしております。参加者相互に交流を深め、学び合い、そのプロダクトをお持ち帰り頂けることと思えます。口頭発表演題申込切等詳細はMEDCホームページをご覧ください。

対象：全国の医療機関・医療教育関係者、e-learningにご関心のある方(教員・研究者・事業者等)どなたでも



## Seminar- 1 : Multiple mini-interviewによる医学部入試

日時：2012年1月28日(土) 16:45～17:25  
講師：Keh-Min Liu(高雄医学大学)

概要：高雄医学大学では、人間的に成熟し動機付けの高い学生を得るために学士入学課程(5年制)を持ち、筆記試験と面接による選抜を実施してきた。従来は4名の面接官が緩やかな構造化面接によって評価してきたが、こうした面接法については信頼性と妥当性の面で問題が指摘されている。そこで2006年から10ステーション(各7分)で構成されたmultiple mini-interview (MMI)を開始した。一次筆記試験で選抜された80名に対しMMIが実施され、筆記試験のスコア(75%) + MMIのスコア(25%)の総合判定で50名が選抜された。受験生はMMIは公平であり客観的であると認識していた。望ましい学生を選抜する方法としてMMIは有望である。

## Seminar- 2 : 技術革新時代のe-learningとsimulationを 成功させる工夫

日時：2012年1月28日(土) 17:30～18:30  
講師：高橋優三(岐阜大学)

概要：今、自分が、かつて人類が経験した事が無い程の激しい技術革新時代に身を置いている事に気がついて人は、何人いるのだろうか？ その技術革新の果実を自分の仕事に生かしている知恵者は、居るのか？ eの力は絶大である。eを制した者が世を制する。教育に関しても同様である。そして多くの人々がITに飛びつくが、ITは極端な長所と極端な短所を併せ呑んでいるため、これを迂闊に教育に取り入れれば、長所を生かせず、しかも短所でコケル。ここで注目したいのはe-learningとsimulationが赤い糸で結ばれていた…共通、かつ逆に補完の関係だ。この2者をうまく利用しよう、長所が徹底的に利用できて、しかも短所が顕在化しない教育項目に狙いを絞ろう。工夫次第では、極めて人間チックな教育もeの力で促進出来るかもしれない。本講演では、共有結合で結ばれたsimulation - e-learningを紹介したい。